

令和8年度

意見書

前橋市農業委員会

目 次

意 見 文

1	ドローンによる農薬散布の補助制度の創設について	1 頁
2	耕作放棄地の解消に向けた補助制度の拡充について	2 頁
3	気候変動や高温等に起因する農業被害に関する支援構築について	3 頁
4	担い手支援事業の拡大について	4 頁
5	男女共同参画の推進について	5 頁

令和 8 年度前橋市農業施策等に関する意見

日頃より、本市農業委員会の活動に対し、格別のご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、近年、気候変動の影響が深刻化しており、地域農業へ甚大な影響を及ぼしています。

また、農業従事者の高齢化が進行し、担い手や後継者の確保が困難となっていること、さらには遊休農地の増加が地域の農地利用効率を低下させていることも、喫緊の課題であります。加えて、世界的な経済不安定化の影響により、原材料の供給不足や物価高騰が続き、生産資材の価格も高止まりしており、農業経営の負担は一層増しております。

このような厳しい状況の中、地域農業の持続的発展に向けては、先進技術の導入、多様な人材が活躍できる環境整備、さらには行政や関係機関との連携による支援などの取組が必要となります。

つきましては、厳しい財政状況であることは理解しているところでございますが、本市の農業を守り、次世代へと引き継いでいくためにも、引き続き実行性のある施策展開をお願い申し上げ、農業委員会等に関する法律第 38 条第 1 項に基づき、本市の農業振興についての意見書を提出します。

令和 7 年 10 月 8 日

前橋市長 小 川 晶 様

前橋市農業委員会
会長 澁 澤 聖 一

1 ドローンによる農薬散布の補助制度の創設について

スマート農業技術の一つであるドローンによる農薬散布は、生産性の向上・省力化に優れている反面、初期投資・維持費の負担が大きく、中小規模の農家にとっては導入の障壁となっています。

県内にはドローンによる農薬散布請負業者も有り、料金は 10a 当たり 1,500 円～2,000 円前後（農薬別）とされています。

中小規模の農家でも経費負担が軽減されればドローンによる農薬散布の導入が進むと考えられることから、ドローンによる農薬散布の推進と費用の一部補助について要望します。

2 耕作放棄地の解消に向けた補助制度の拡充について

農業者の高齢化等により、耕作放棄地が急増しています。

特に、新規参入者や規模拡大希望者は大区画の条件の良い農地を求める傾向があるため、中山間地域の農地は取り残される状況となっています。

中山間地域は耕作放棄地が多く、これらの解消を図るためには行政による補助制度の充実が不可欠であり、耕作放棄地解消に係る補助制度の大幅な拡充を要望します。

3 気候変動や高温等に起因する農業被害に関する支援構築について

近年、気候変動の影響により農業の現場では、気温上昇による育成障害や品質低下、豪雨や干ばつの頻発による収量減少、病害虫の発生増加など、従来の営農体制では対応困難な事象が多発し、農家の負担が大きくなっています。

これらの農業被害は地域農業の持続可能性を脅かすものであり、農家の生活や地域経済にも深刻な影響を与える可能性があります。

つきましては、農場の安全確保と地域農業の持続的な発展のため、行政による包括的な支援対策の構築を要望します。

4 担い手支援事業の拡大について

材料費の高騰や円安の影響を受けて、農業用機械や関連装置などの価格の高騰が止まらない状況であり、担い手支援事業の補助額が現状の市場価格に見合っていないように感じられます。

つきましては、今後の前橋の農業を担う若手農業者をはじめ、現在の前橋の農業を担っている既存農業者のためにも、担い手支援事業の補助額の上限拡大を要望します。

5 男女共同参画の推進について

近年、男女共同参画の視点は広く浸透してきており、個々の農家においても役割分担がなされ、女性が経営に参加したり、主体的に活躍する事例が増えてきました。しかしながら、社会全体としては、依然として男性が中心となって担っている場面が多いように感じられます。

また、性別や世代にとらわれずに、若い農業者や女性などが意見を述べられる場の重要性を感じていますが、現状ではそのような場が十分に確保されていないように思われます。

つきましては、女性農業委員の登用などを積極的に行い、世代や性別を超えてコミュニケーションがとれる農村社会の実現、そして、農業の担い手が育つ環境づくりを要望します。